

令和5年度

事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に基づく市の指定を受けた中間支援組織として、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会など民間のステークホルダーと行政との官民連携の結節点として協働のまちづくりを推進しています。令和5年度から令和9年度までの中期行動計画として、新しく定めた「アクションプラン2023」に基づき、“**確かなコーディネータと明日へとつながる伴走支援で、協働のまちづくりをリードします**”を組織ビジョンに掲げて様々な事業を展開していきます。

令和5年度は、3年目となる草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」を拠点に、ともに中間支援組織である草津市社会福祉協議会との協働を進めながら、男女共同参画センター等の市の機関や草津商工会議所等の入居団体との連携も進めていきます。急激な物価上昇など目まぐるしい社会情勢の変化を注視しながら、「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない「オンリーワン」の組織として、次に掲げる基本方針のもと、令和5年度の事業計画を定めます。

(1) 事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”を追求します。

草津市では令和3年度から「第6次草津市総合計画」がスタートしています。第1期基本計画でリーディング・プロジェクトのひとつとされた「地域の支え合い推進プロジェクト」に関わり、各地域まちづくり協議会の支援については、引き続き会計・税務・労務等業務の支援を行うとともに、人材育成や地域課題の相談対応等、地域のまちづくりに関わる支援の強化を図ります。

市民公益活動団体等に対しては、公式LINEを通じたまちづくり情報の発信を新たに行うとともに、キラリエ草津5階「協働ひろば」の機能強化によって、団体同士の交流・連携機会の充実に取り組むなど、事業団ならではの専門性とネットワークを活かして、新たな取組もスタートします。

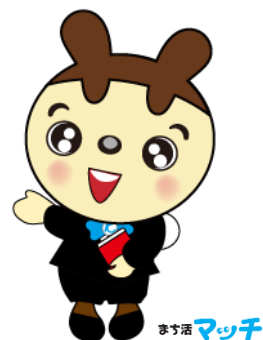
(2) 政策支援型の公益事業を展開し、指定管理施設の社会的価値を高めます。

指定管理施設の運営では、高齢者を含む多世代間交流を図り「健幸都市」を推進するロクハ荘、みどりのサポートセンターを窓口に「ガーデンシティくさつ」を推進するロクハ公園、草津市文化振興条例に基づき市民とともに創るスタイルで「13万人の文化プロジェクト」等を実施する文化ホールが、それぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援する公益事業を展開し、施設の社会的価値を高めます。また、新型コロナウイルス感染症に対しては、国の示す基準の変化に柔軟に対応しながら、引き続き、安全・安心な施設運営に努めます。

(3) 変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。

人材マネジメントについては、令和4年1月に草津市が示した「コミュニティ事業団のあり方について」の方針決定を受け、プロパー職員の採用を行うとともに、働き方改革に伴う契約職員等の処遇改善や各種研修、コンピテンシーモデルと言われる職員の行動規範を示した新たな人材育成評価制度等を通じて、職員の人材育成、組織体制の強化を図ります。

複雑多様化する社会の中で、「困ったときは事業団」と気軽に相談していただけるよう、市民によるまちづくり活動を中間支援組織として支えるとともに、市の各種政策を支援できる「オンリーワン」の組織として、これからも、先駆性、挑戦性を大切に、変化を先取りし、常にチャレンジし続ける組織づくりを進めます。



事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興およびまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. まちづくりに関する情報の収集および発信

① まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行（3,039千円）

市内の特色ある団体や取り組みを紹介するまちづくり情報誌として発行します。年間2回の市域版に加え、希望のあった地域を対象に地域版も年間2回発行します。

地域版の作成にあたっては、地域まちづくり協議会と協働で取り組み、地域まちづくり情報の充実と広報力の向上、地域とのつながりづくりに活かします。



② 市民活動団体情報の収集と発信（258千円）

市内で活動する市民活動団体の基礎情報をHPで発信し、団体の情報発信やパブリシティ活動、ボランティア希望者とのマッチング、団体同士のネットワーク形成などに活用します。掲載団体に対してはニュースレターを送付し、活動風景のレポートや有益なサポート情報を届け、更なるネットワーク形成や活動基盤の強化につなげるほか、えふえむ草津の情報番組「FRONT LINE」への出演を通じて、広報活動の支援にもつなげます。

また、今年度は5年ごとに実施している「市民活動団体調査 虫めがね」を実施し、市内で活動する多様な市民活動団体の現状と抱える課題といった等身大の姿を把握し、今後の事業展開に活用していきます。

③ コミュニティFMを活用したまちづくり情報の発信（2,014千円）

まちづくり活動に取り組む団体の活動PRの機会として、今年度もFM番組「くさつコミュニティTeaTime!」を、えふえむ草津と連携しながら放送します。“市民自らが出演するFM番組”として情報誌や助成事業、地域まちづくり協議会の支援事業などと連携しながら、多くのまちづくり活動団体出演されるようコーディネートを行います。



④ まちづくり協議会 HP 運営サポート（132 千円）

地域まちづくり協議会運営の透明性の確保と広報力向上のため、希望する協議会の HP 運営サポートを行います。10 地域のまちづくり協議会と HP 保守業務契約を締結し、IT 系 NPO と連携しながら運営をサポートします。また、希望する協議会に対しては SNS 開設やオンライン会議の指導など HP 以外の広報活動の支援も行います。

なお、HP 運営サポートは、第 2 期の指定管理期間が終了する令和 6 年度を区切りとして整理し、以降の継続については、地域まちづくり協議会の意向調査を行った上で検討していきます。

イ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング

① 相談・コンサルティング（192 千円）

中間支援の基幹業務として、まちづくりに関する各種相談に職員が「まちづくりコーディネーター」として対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。それぞれのニーズに応じながら、地域まちづくり計画の策定サポートや人材育成講座、まちづくり講座の実施、事業団の関係施設や大学などと連携した各種サポートも実施します。

特に地域まちづくり計画の策定など専門性や実務が伴う業務に対しては、有償型支援への移行を図り、その収益を職員の間接支援力向上のために活用していきます。



ウ. まちづくりに関する人材育成および研修

① ひととまちの未来をつくるカレッジ（256 千円）

市民活動団体や地域まちづくり協議会、これから活動を始めようとする市民を対象とした学びの機会を提供します。想いをカタチにしてきた実践者の話や地域まちづくり協議会の自慢事業の紹介、大学サークルとのマッチング会など、多様な学び・気づき・つながりづくりの機会を創出します。

コロナ禍をきっかけに導入したオンライン型やハイブリッド開催、後日の動画配信など多様な参加形態をとりながら、「キラリエサポーター制度」とも連携することで草津の市民活動団体や関心層に広く提供します。



エ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

① ひとまちキラリ（助成／活動賞）（1,883 千円）

市民公益活動団体への助成制度である「まちづくり活動助成」と、長年、地域で地道な活動を続けてきた団体に“ありがとう”の気持ちを伝える「イキイキ活動賞」を引き続き実施します。特に助成事業では活動のスタートアップを支援するため、助成だけでなく活動全般に寄り添う伴走支援を行います。



併せて実務型研修講座を行い、基本的な実務スキルの習得や団体間の連携を強化します。

② まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務（13,542 千円）

地域まちセンの指定管理者として2期目を迎えている地域まちづくり協議会の会計、税務、労務などの日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市からの受託事業として実施し、各協議会の適正かつ円滑な事務を支援します。

また、昨年度に複数のまち協で適切でない会計処理が確認され、交付金の返還等の処置がとられました。まち協の事務局職員が、自ら適正な処理判断を行い、相互に指摘しあえる組織風土を形成するよう、Q&A サイトの見直しや他地域の職員同士と気軽に相談し、情報共有ができる方策についても、中間支援として検討します。

③ 市民交流スペース「協働ひろば」整備・管理業務（215 千円）

キラリエ5階のフリースペース「協働ひろば」の管理運営を市から委託を受けて行います。昨年行った「空間・機能デザイン検討委員会」での検討を受け、これまでの機能を充実させるだけでなく、新機能の付加にもチャレンジします。特に動画を使った情報発信や記者提供など「情報を得るだけでなく、情報が生まれ発信されるスペース」としての機能や、キラリエサポーターをはじめとする様々な活動団体に、多様な使い方を提案し、団体間の交流や挑戦ができる場所として活用されるよう、柔軟に取り組みます。



④ 草津コミュニティ支援センターのサポート（2,982 千円）

草津駅西口近くにある草津コミュニティ支援センターの施設管理を行います。公設市民堂による中間支援センターとして、登録団体により構成される「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営をバックアップしながら、運営会や利用団体が安全・安心に利用できる施設管理面でのサポートを行います。

⑤ まちづくり機器の貸出（593 千円）

市民公益活動団体や地域まちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るためのイベント等に利用する厨房機器などの「各種まちづくり機器」を貸し出します。また、協働ひろば（キラリエ5階）では、活動の事務作業や情報発信等に必要な各種機材を提供し、活動をサポートします。

なお、厨房機器についてはコロナ禍でイベントでの飲食形態が変わりつつあることを鑑み、次年度以降のあり方については貸出の終了も視野に入れた検討を行います。

オ. その他、各種団体との協働事業の推進（1,083 千円）＊共通経費含む

キラリエ草津の入居団体や関係機関、市民公益活動団体等との連携を深め、「まちづくり×福祉」や「学生×地域活動」「企業×市民公益活動」といった協働の取り組みに積極的かつ柔軟に取り組むことで社会的課題の解決に向けてチャレンジします。また、取り組みを通じて事業団を応援してくれる多様な事業団ファンの獲得も目指します。



2. 高齢者福祉および多世代交流に関する事業

(1) 長寿の郷ロクハ荘

指定管理期間(令和2年度から5年間)の4年目となります。指定管理提案としてこれまで行ってきた「健幸都市くさつ」を基に、ロクハ荘を「アクティブ・オープン・プレイス」と位置付け、事業を展開しながらも安心・安全な管理運営に努めます。

① 高齢者の外出の機会の創出(198千円)

普段の生活で遠出が出来ない方への楽しみや仲間作り等に向けた外出機会を創出します。個人で、仲間で、様々な形でロクハ荘の楽しみ方を発見できるよう、多様な連携を進めながら、事業展開を図ります。



来館の主要目的のひとつである温浴施設では、日頃の温浴施設にイベントを加えた月1度のお風呂の日を実施します。また、セラミックボール足湯や縁日事業などで、再来館したくなるロクハ荘を創出します。

② 高齢者の社会参加の場の提供

福祉避難所であるロクハ荘では、市の防災事業にも参加し、利用者の防災意識の高揚に努め、救急者要請時の対応など、日ごろの安心安全な施設運営にもつなげます。また、日頃の同好会活動の成果を披露する場として、発表会や展示会を実施し、新規会員の勧誘や、同好会会員のチャレンジ意欲の向上など、同好会支援へとつなげます。



③ 仲間づくりの輪を広げる(228千円)

自然の恵みである野生鳥獣のお肉「ジビエ」をおいしくいただく事がSDGsに貢献できることから、滋賀県自然環境保全課鳥獣対策室や滋賀県猟友会と連携し、「滋賀県のジビエについて学んでみよう」を新たに実施します。

市農林水産課の指導のもと始まった「山田ねずみ大根事業」は3年目に入り、仕上げの1年とします。地域への普及・周知を目標とした当事業は、種を採取し希望者へ分配をすることを到達点とし活動します。



④ 多世代の交流が深まる（420 千円）

自然公園や中庭を会場にした「緑葉（ロクハ）あそびクラブ」や「つどいの広場くれよん」と連携した子育て支援イベントクリスマスやひなまつりイベント等を継続して行います。中でも、自然豊かなロクハ公園実験農場で栽培された野菜を、収穫し、食べるところまで体験することで、ロクハの自然を堪能するロクハ連携ならではの事業を展開します。

⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続（25 千円）

市の健幸都市宣言に沿った健康づくり事業を展開します。新たな事業として昨年度から導入したカラオケ機器の健康プログラムや YouTube 等の動画を活用した「ROKUHA レク」を月 1 回開催します。音楽やアロマの香りで身体の五感に働きかけながら、脳の活性化を図ります。



健康なんでも相談では、信頼できる薬剤師によるアフター相談と健康測定を同時に行い、生活習慣を見直す機会を提供します。今年度は野菜摂取量測定を取り入れ、ロクハ荘で開催する JA レーク滋賀による野菜販売「旬菜館」や料理講座を紹介するなど、事業同士の連携をさらに進めます。

3. 環境および公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園等

令和5年度は、(公財)草津市コミュニティ事業団、草津造園協同組合と(株)サンアメニティ大阪の三者共同による3年間の指定管理事業の最終年度であり、積み上げてきたノウハウを活かして次期提案につなぐ、重要な1年となります。引き続き、「施設を知り抜くプロの連携による「安全」「安心」「快適」の提供」、「みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり」「誰もが健康で幸せに暮らせる健幸都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくり」の3つを重点方針として運営します。

市では、ロクハプールの老朽度調査を受けた対応や今後に向けた検討を令和5年度に予定しており、その動きに協力するほか、新規自動販売機の設置や自主事業として芝生広場でのドッグランを試行するなど、財源確保の取組を充実します。

① ロクハ公園プール管理運営事業 (構成団体 28,972 千円)

構成団体である(株)サンアメニティ大阪が持つプール運営事業のノウハウを生かして管理運営を行います。指導経験豊かな講師による水泳教室、プールサイドイベントや緑化フェアで好評を頂いたビッグローラー等で、集客を図るとともに、ロクハ荘温浴施設の割引などロクハ荘と連携したオールロクハのサービスを提供します。



令和5年度は、「ロクハモデル」構築で培ったノウハウを活かして、プール入場時の混雑緩和などに取り組み、安全、安心、快適に、ロクハ公園プールの管理運営を実施します。

② 公園維持管理事業 (構成団体 14,003 千円)

ロクハ公園を含む約330以上の市内児童公園では、遊具や外構設備の老朽化や植栽の伸長、新たな公園の追加など、公園管理のニーズは益々大きくなっています。事業団職員による日常点検に加え、専門業者点検により、迅速で適切な維持管理に努めます。

令和4年度から取り組んだ「木陰の散歩道コンサート」等の音楽系イベントや、立命館大学と連携した運動系イベントが好評です。近隣の中学・高等学校吹奏楽部の参加を呼び掛けて発展させたり、令和5年度からは、ロクハ公園の植栽や設備を利用した「ヤーンボミング」を実施団体と共催して、今秋開催の緑化フェアで展示する予定をしています。

利用者の利便性向上と業務省力化に向け、インターネット予約システムを充実し、365日24時間自動サービスを導入しました。令和3年度からデイキャンプ森利用申請に、令和4年度からはふれあい事業等への参加申請に活用しており、令和5年度は刈草処分依頼、環境緑化機器貸出やお花見広場など施設使用申請にも拡大します。

③ 「みどりのサポートセンター」・ボランティア支援・ガーデニング推進事業

(765千円)

「みどりのサポートセンター」では、草津造園協同組合、公園ボランティアとともに「未来に向けた花と緑のまちづくり・ガーデンシティくさつの推進」の活動理念を実現するため、住民による公園管理を総合的にサポートしています。ロクハ公園のメインストリートであるプロムナードを中心に四季折々の装飾を施して、ガーデニングを始める・深めるきっかけづくりとするほか、駆付け型講座などにも取り組みます。

公園ボランティア活動では、レイカディア大学や一般から新規募集し、植栽管理やカブトムシ飼育のボランティアを組織しています。参加者がより満足感を得られるように、主体的な運営形態への移行に取り組みます。

④ 環境学習事業やロクハ荘との連携事業 (906千円)

環境学習事業では、ロクハ公園の恵まれた自然環境を最大限活用して、ウォッチングシリーズ、ロクハツアーシリーズ、〇〇の日シリーズ、カブトムシ観察会などの人気企画を自主事業として継続します。

ロクハ荘との連携では、立命館大学と連携したロクハ実験農場での活動や、「つどいの広場くれよん」の未就園児や保護者を対象にしたロクハ実験農場での収穫体験、水遊びを行うなど、オールロクハで「健幸都市くさつ」に貢献します。



4. 社会教育および文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

令和5年度は、指定管理期間（令和2年度からの5年間）の4年目に入ります。「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施します。事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力と舞台芸術プロデュースを有する中間支援機能（草津アートセンター機能）を充実し、草津市文化振興条例、同計画の推進に寄与します。

今年度、クレアホールは5月から6月にかけて空調、舞台吊りもの、等の工事のため閉館し、アミカホールは外壁工事など予定されていますが、草津市の文化芸術振興をリードする事業展開を図っていきます。

ア. 鑑賞型事業（12,720千円）

鑑賞型事業では、劇団四季公演や劇団四季心の劇場が定着してきているほか、滋賀県等とも連携を行いながら、子どもたちをはじめ、多くの市民に本物の舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。

- ① 『クレア劇場 2023』 劇団四季 ファミリーミュージカル「ジョン万次郎の夢」公演
- ② 劇団四季 心の劇場 市内小学6年生を招待するファミリーミュージカル公演
- ③ 令和5年度宝くじ文化公演事業
キーウ・クラシック・バレエ
『チャイコフスキー夢の3大バレエ～名場面集～』
- ④ NHK公開テレビ番組 『のど自慢』の 予選、本選 公開収録
- ⑤ 滋賀県アートコラボレーション事業 『おうみ狂言図鑑2024』
茂山千五郎家による古典作品と滋賀県を題材にした創作狂言の公演
- ⑥ ケロポンズ ファミリーコンサート 『マッチといっしょにあ・そ・ぼ・う!』



イ. 普及啓発事業 (635 千円)

普及啓発事業では、劇場での本公演を前に、ワークショップを開催し、舞台芸術への関心を深めます。

① 狂言ワークショップ 学校アウトリーチ

教科書で学ぶ『柿山伏』など狂言の魅力をプロから学び、「すり足」「発声」などの体験を通して古典芸能へ関心を高めます。



② ダンスワークショップ

クレア舞台芸術学校のアウトリーチとして、地域の子どもたち向け、ダンスワークショップを行います。

ウ. 市民協働事業 (6,985 千円)

① 『草津市芸術祭 2023』

合唱祭、文化祭、プラスフェスを統合し、芸術祭として、公募団体による実行委員会制で開催します。反響板、袖幕、所作台と舞台の仕様で、ジャンル別で開催します。

② ワンコインコンサートシリーズ 2023

四季折々にテーマを決めて地元のアーティストや音楽団体等とともに創るコンサート

③ 夏休み前の安全安心コンサート

まちづくり協議会と共催で行う、消防音楽隊と警察音楽隊のファミリーコンサート

エ. 創造型事業 (7,550 千円)

① クレア舞台芸術学校

- ・草津歌劇団 予科生、本科生の募集とオリジナルミュージカルの公演
- ・くれあ座子ども和楽団生を募集し 箏、日本舞踊等
ワークショップの開催 芸術祭で発表



オ. 情報発信事業 (2,520 千円)

① 月刊草津アートセンター 情報誌の発行

② えふえむ草津 『月刊 草津アートセンター』番組製作

カ. 次世代育成事業 (1,600 千円)

① クレアフェスティバル

- ・ 中学、高校、大学 ~一般社会人バンドが一堂に会するプラスの祭典
- ・ 青少年のためのワークショップ ほか



② クラブ活動支援

- ・ コンクール前のホール練習会場の提供

キ. アートセンター事業 (510 千円)

① アーティスト登録 技術支援 舞台芸術相談窓口

② オリジナルプログラムの開発

③ アートマネジメント 人材育成研修

④ こども芸術鑑賞応援制度

⑤ リハーサル事業 (アミカホール クレアホールの空き日を利用したホール体験)

⑥ アートスタート事業 (市委託事業)

世界で一番近い0歳児からのコンサートをイメージして、0歳児から安心して来場でき、親子が間近に音楽を楽しめる機会を提供します。

(2) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営および維持管理を行います。構成団体にコナミスポーツを加えた指定管理の2期目、合同会社として5期目の2年目であり、令和7年度に滋賀県で開催される、国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会の成功のための大切な準備期間となります。

第6期草津市総合計画の基本理念でもある『ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津』の実現、『「する みる 支える 知る」“ALL くさつ”でつなぐ 健幸スポーツのまち』を指定管理の基本理念に掲げ、第2期草津市スポーツ推進計画の各種施策の達成に貢献するため、草津市、連携事業者、草津市スポーツ協会等の競技団体や学区体育振興会等の地域団体と協力して取組を進めます。

<指定管理者としての管理施設>

- ① 総合体育館
- ② 弾正公園（草津グリーンスタジアム、
弾正テニスコート、多目的広場）
- ③ 野村運動公園（グラウンド）
- ④ ふれあい体育館・運動場
- ⑤ 武道館
- ⑥ ミツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦ 野村公園 YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）



※令和5年度は、ふれあい体育館床改修・LED照明工事（令和5年8月～12月）、武道館空調改修工事（令和5年9月～10月）、草津グリーンスタジアム人工芝改修工事（令和5年4月～6月）等が予定されています。

施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう、施設の維持管理の充実を図るとともに、公平公正に努め、各種サービスの向上に取り組めます。

また、コロナ感染症対策については、競技種目等の特性にあわせ、国や各競技団体等が示す対策基準に沿って対応します。

にぎわい創出事業については、コナミスポーツの強みを生かした事業展開や多様な地域資源との連携を進めるとともに、「ライフステージにあわせた健康づくり（子育て世代や働き世代へのアプローチ）」や「健康増進イベントの開催」等についても、関係団体とも協力しながら積極的に開催します。

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

① 道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所などの紹介など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

② 長寿の郷ロクハ荘、クリアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

長寿の郷ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、クリアホールやアミカホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、経費節減に努めながら適正に行います。